

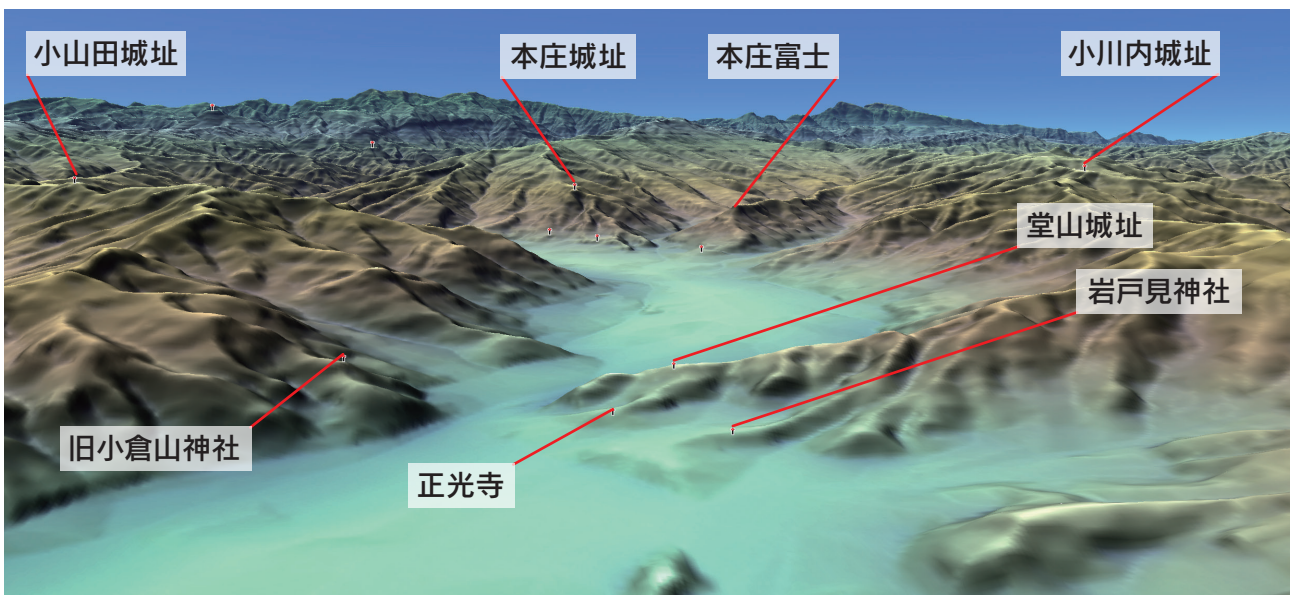
3Dマップで観る上城井①

北から見た宇都宮氏館跡



宇都宮氏館跡(松丸)は平野中央部に位置し、少し高台となった場所に位置していることがわかります。また後方の本庄地区を防備する前線基地としての役目も担っていたことが考えられます。

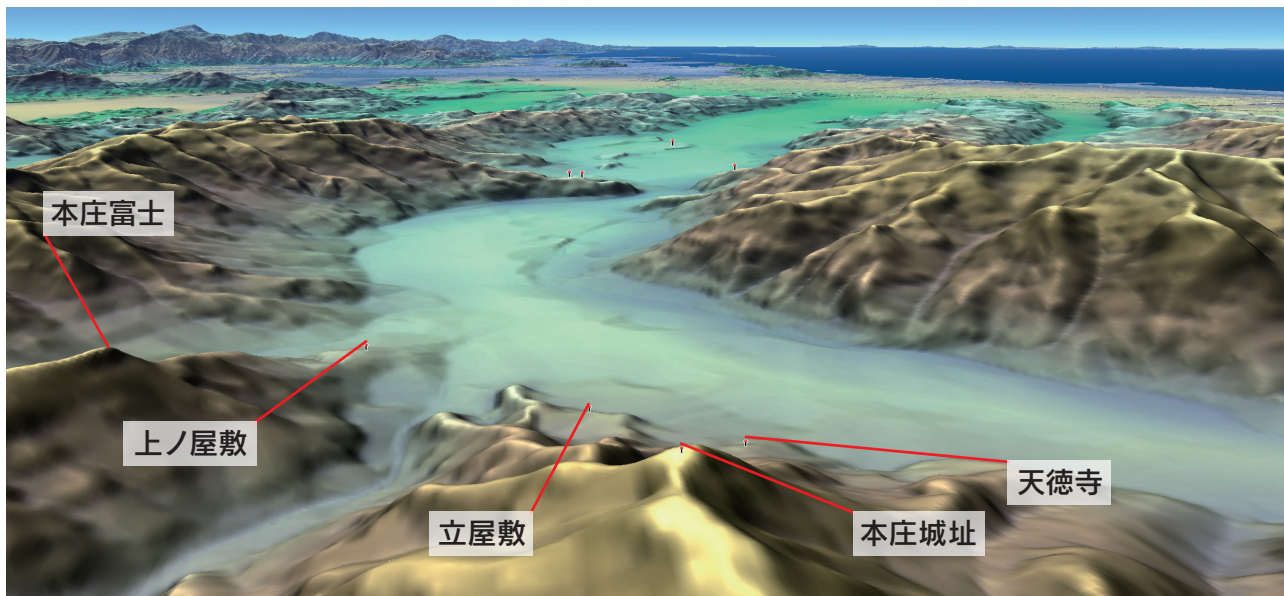
北から見た一の戸



本庄地区の入り口は狭く、その両端は堂山城と旧小倉山神社で守られた形状となっています。手前の伝法寺地区にはこの地域の神楽の中心的神社となる岩戸見神社が位置しています。

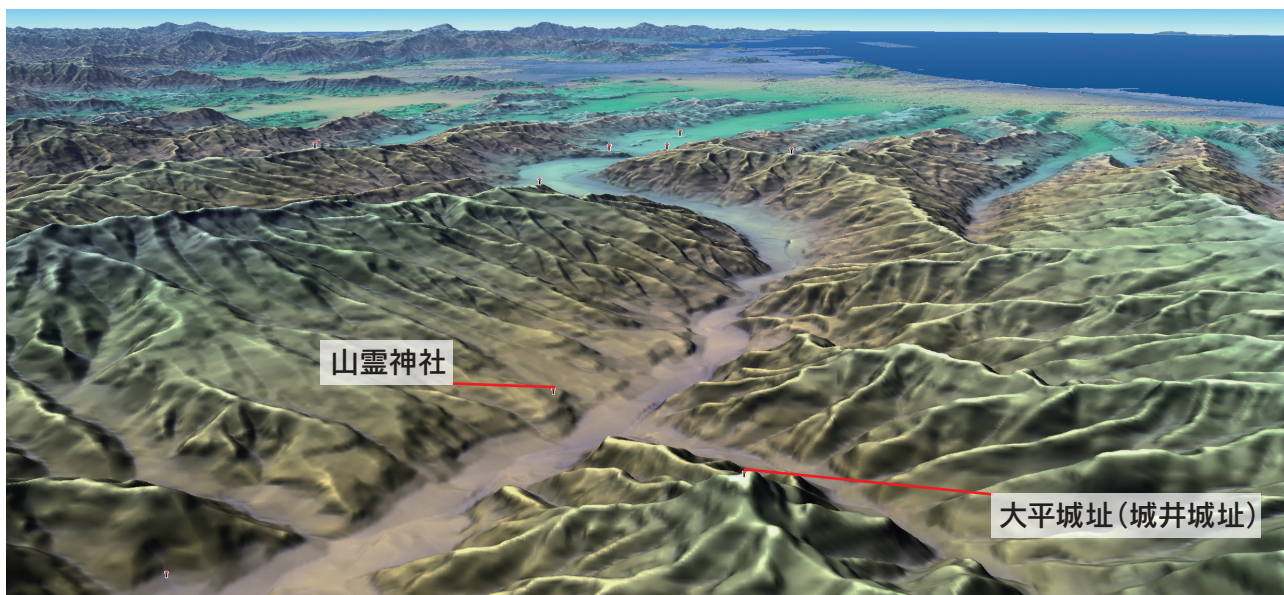
3Dマップで観る上城井②

南から見た本庄城址



これは先ほどの本庄地区を南から見た図になります。中央後方には本庄城が位置し、その麓には天徳寺があります。またそれぞれの尾根の麓には、上ノ屋敷と立屋敷が位置しています。

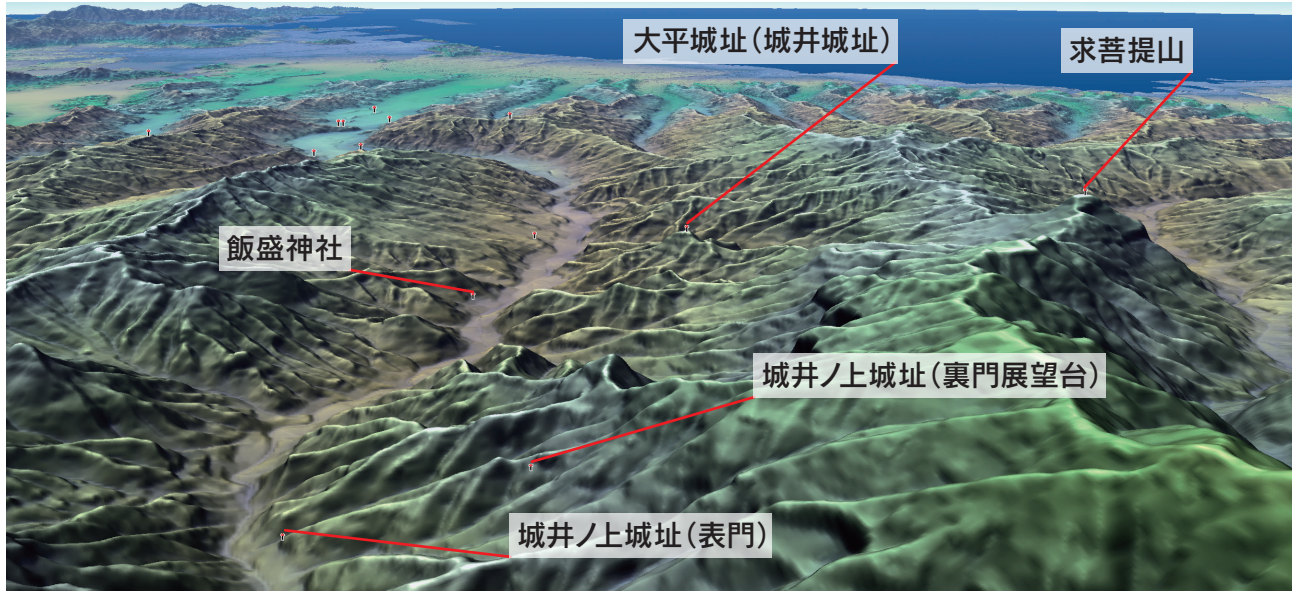
南から見た大平城址



大平城(城井城)は、求菩提山から下った場所に位置し、全面の川を利用した天然の要害となっています。またその対面に山霊神社があり、下った場所に寒田ガニ坊の棚田があり、その先に回廊となる櫛原地区があります。

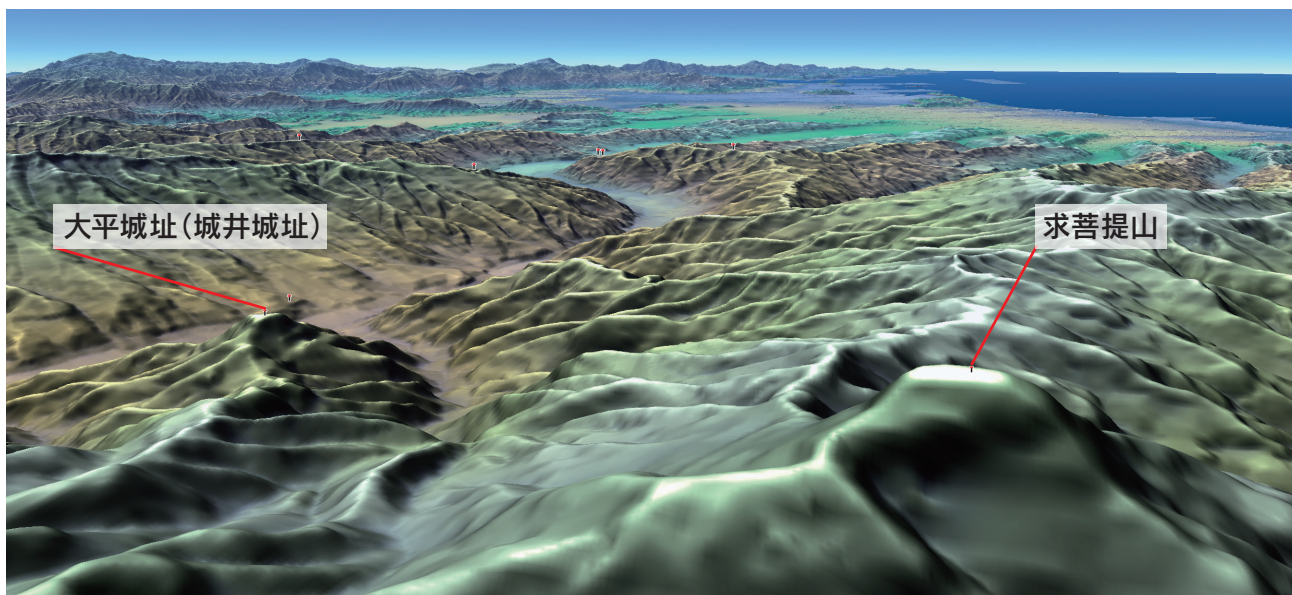
3Dマップで観る上城井③

南から見た城井ノ上城址



寒田の背面は英彦山へと続き、東は求菩提山がそびえます。城井ノ上城は、天然の要害を利用した立てこもりの場所となっています。

南から見た求菩提山



求菩提山は上城井全体が見渡せる場所にあり、周防灘の様子も望むことができます。